

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

燕南部地区都市再生整備計画

平 成 2 4 年 3 月

新 潟 県 燕 市

都市再生整備計画(第4回変更)

つばめな ん ぶ ち く
燕南部地区

にいがた けん つばめ し
新潟県 燕市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	燕市	地区名	燕南部地区	面積	990 ha
計画期間	平成19年度～平成23年度	交付期間	平成19年度～平成23年度				

目標
大目標:「中心市街地にふさわしい、防災性の高い、活気と活力があふれるまちづくり」
目標1: 防災性の高い安全な市街地の形成
目標2: 緊急災害情報の迅速な伝達手段の確立
目標3: 地域の活気と活力を生み出す産業の振興

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 旧燕市の行政区域の市街地部分を対象とする本地区は、越後平野のほぼ中央、県都新潟市と長岡市の中間に位置しており、信濃川と中ノロ川に沿って形成されている。 また本地区は、交通利便性の高い地区であり、北陸自動車道や上越新幹線といった高速交通網をはじめ、主要国道289号、JR弥彦線などが整備され、広域的な交通網の交通結節点となっている。 さらに本地区は、産業金属洋食器、金属ハウスウエア製品の主要産地であり、特色ある産業を持つ県下有数の工業地帯となっている。 一方、新潟県中越地震の発生や集中豪雨の多発などを背景にして、市民の防災意識が高まっており、総合的な防災対策が求められている。特に、中ノロ川沿いに位置する上越新幹線燕三条駅周辺の市街地（須頃郷地区）では、2004年の7.13県央集中豪雨時などに浸水被害が多発しており、水害に対して脆弱な状況がみられる。また、緊急時の避難・救急経路として重要な街なかの街路網の整備や、災害時の緊急災害情報を市民に提供する総合的な情報ネットワークの構築など、防災対策を支えるインフラ整備の面で不十分な状況がみられる。 また、引き続き世界に通用する産業のまちとしての発展していくために、金属加工技術等のものづくり技術の継承や産業観光の振興、地域ブランドの強化などに向けた支援策が求められている。
課題 「中心市街地にふさわしい、防災性の高い、活気と活力があふれるまちづくり」の実現に向けては、災害に強いまちづくりをハード・ソフト両面から推進するとともに、地域産業の様々な資源を活かした取組みを推進する必要がある。 具体的には、次の3点が課題として挙げられる。 ①水害や地震に強い都市基盤の整備 ②緊急災害情報の迅速な発信・伝達を支える情報インフラの構築 ③地場産業の継承・振興に寄与する産業観光の推進
将来ビジョン(中長期) 「新市建設計画」 【新市の将来像】: 人と自然と産業が調和しながら、進化するまちをめざして ～ひとづくり・ものづくり・自然を活かしたまちづくり～ 【まちづくりの方針】: ・生活・基盤に関しては、「住みやすい愛着のあるまちをめざして」という基本方針のもと、都市基盤、交通基盤、生活環境の整備、安心・安全なまちづくりの実現に向けた施策が位置づけられている。 ・産業・活力に関しては、農林業、工業、商業・サービス業、観光といった各産業の振興に向けた施策が位置づけられている。 ・この中で、本計画の目標に関連する施策としては、「地震や水害等の災害に強いまちづくりの実現に向けた防災対策事業の推進、防災体制の充実」、「市街地の狭く複雑な道路状況の解消」、「地域産業のPRの強化、産業観光の取り組み推進」といった施策が位置づけられている。 【まちづくりへの取り組み】 ・地域住民自らが、地域の課題や問題を掘り起こし、解決策を協議し、責任を持って解決していくことで自立した地域づくりを行う組織として、市内の一定の地域を単位とするまちづくり協議会を設置し、地域住民による主体的な地域づくりを進めている。現在、市全体で11の協議会が組織され活動している。

目標を定量化する指標						
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値	目標値
					基準年度	目標年度
須頃郷地区の浸水予想区域面積	ha	須頃郷地区において集中豪雨発生時に浸水被害が予想される区域の面積(20mm/h降雨の場合)	防災性の高い安全な市街地の形成に向けて、雨水排水対策など、浸水被害の軽減策を実施し、浸水区域の範囲を減少させる。		19.20	23
災害関連情報受信可能世帯率	%	地区内の総世帯数に占める災害関連情報を受信できる世帯の割合	緊急災害情報の迅速な伝達手段の確立に向けて、防災無線等の情報インフラを整備し、緊急災害情報を受信できる世帯を増加させる。		10	23
産業関連のイベントの開催件数	件／年	地区内で開催される産業関連のイベントの開催件数	地区の活気と活力を生み出す産業の振興に向けて、産業関連の交流や情報発信の場となる産業観光拠点施設を整備し、産業観光の活性化を促すことによって、産業関連のイベントの開催件数を増加させる。		7	23
浸水エリアの減少(水道町地区)	m ²	燕市水道町地区において降雨時に浸水被害が予想される道路浸水区域(20mm/h降雨時の場合)	防災性の高い安全な市街地の形成に向けて、雨水排水対策など、浸水被害の軽減策を実施し、浸水区域の範囲を減少させる。		9,000	23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1:雨水排水施設の強化と緊急時の避難路・避難施設の確保 ・須頃郷地区の排水ポンプ場の更新(排水ポンプの更新、運転支援システムの導入など)を実施するとともに、浸水被害発生の一因っている流下能力の低い排水路の改修工事を実施し、須頃郷地区の雨水排水機能を強化する。 ・未整備となっている街路や身近な生活道路の歩行者空間、公園の整備を実施し、緊急時に円滑な避難・救急活動が行える環境を整える。 ・水害や地震の発生時に避難施設としての役割を果たす小中学校施設の耐震化を推進する。 ・燕市水道町地区において、たびたび道路が冠水するため排水路の改修工事を行い水道町地区の雨水排水機能を強化する。		・須頃郷地区排水対策事業(基幹事業、燕市及び三条市) ・須頃郷一号排水路改修(基幹事業、燕市) ・(都)小関佐渡2号線整備事業 (基幹事業、燕市) ・(都)八王寺佐渡線整備事業 (基幹事業、燕市) ・白山三丁目20号線(基幹事業、燕市) ・佐渡橋改修工事 (基幹事業、燕市) ・白山町一丁目公園整備事業(基幹事業、燕市) ・小中学校施設大規模改造事業(関連事業、燕市) ・朝日2号線(基幹事業、燕市) ・朝日4号線(基幹事業、燕市) ・市街地雨水対策事業(水道町) (基幹事業、燕市)
整備方針2:多層的な緊急災害情報システム・ネットワークの構築 ・災害時の情報伝達手段となる同報系無線の整備・更新を実施し、地区内における災害情報伝達手段を確立させる。 ・インターネットのメール機能を活用し、携帯電話等に対して緊急時の災害情報を配信する情報伝達システムを構築する。 ・上記事業とあわせてソフト面の施策として、災害発生時の自主避難に有効なハザードマップを作成するとともに、市民が緊急時に迅速な行動を取れるように、防災無線・メール配信等の災害情報伝達手段を含めた防災マップを作成し、地区住民への広報を行うことによって、防災意識の向上を図る。		・防災行政無線(同報系)整備事業(基幹事業、燕市) ・防災情報配信システム整備事業(提案事業、燕市) ・ハザードマップ作成(洪水・土砂)(関連事業、燕市) ・防災・観光用GIS整備事業(関連事業、燕市)
整備方針3:産業観光の拠点施設の整備と観光客の利便性向上 ・燕市の特色ある産業を活かして、金属洋食器、金属ハウスウエア製品の展示、ものづくり技術の継承、新たなデザイン開発機能を併せ持つ「産業史料館」を既設の産業史料館及び矢立煙管館と機能的に連携した形で建設し、産業観光の拠点として活用することによって、人づくりや情報の発信・交流、地域産業のPR、地域ブランドの強化を図る。 ・産業観光と連携して、観光案内サインの整備を図るとともに、自動車交通のアクセス性を向上させることによって、燕市を訪れる観光客の利便性の向上を図る。 ・燕市のシンボルとして市民に親しまれてきた旧配水塔をリニューアルして、近接する産業史料館と連帯し観光施設として燕市の歴史を伝え、観光客の更なる利便性の向上を図る。		・燕市産業史料館新館建設事業(提案事業、燕市) ・観光大型シンボル看板整備事業(提案事業、燕市) ・(都)小関佐渡2号線整備事業 (基幹事業、燕市)(再掲) ・(都)八王寺佐渡線整備事業 (基幹事業、燕市)(再掲) ・燕市旧配水塔整備事業(提案事業、燕市)
その他 ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 須頃郷地区においては、浸水被害の軽減に向けた抜本的なインフラ整備が今後も予定されていることから、防災まちづくりに対する地域住民の理解・協力と防災意識の醸成に向けた取り組みを継続する。 ○交付期間中の計画の管理について それぞれの事業を円滑に効率よく推進していくために、地元の各団体と行政とがその事業の進捗状況、成果、評価を協議する会合を開催していく。		

交付対象事業費	4,651	交付限度額	1,896.2	国費率	0.408
---------	-------	-------	---------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

...A

合計(A+B)	4,651
---------	-------

[illegible]

燕南部地区（新潟県燕市）整備方針概要図

目標	中心市街地にふさわしい、防災性の高い、活気と活力があふれるまちづくり	代表的な指標	須頃郷地区の浸水予想区域面積 (ha)	19.2 (18年度) → 3.41 (23年度)
			災害関連情報受信可能世帯率 (%)	10 (18年度) → 70 (23年度)
			産業関連のイベントの開催件数 (件/年)	7 (18年度) → 9 (23年度)
			浸水エリアの減少(水道町地内) (㎡)	9,000 (18年度) → 0 (23年度)

